

高知の社会福祉協議会

GUIDE BOOK

SOCIAL WELFARE COUNCILS IN KOCHI

かんたんガイド

だから、
私は社協で
はたらく！

社協のしごと



本越宏夢さん

社協に入ったきっかけは
何ですか？

もともと福祉を専門的に学んだわけでもなく、経験があるというわけでもありませんでした。社協という存在を知ったのも、学生時代に役場の方から紹介されてアルバイトとして働き始めたのがきっかけです。

実は、バイトをはじめるまで社協がどのような仕事をしているのかもよくわかっていませんでした。でも、社協の活動に関わっていく中で、昔から知っている地域のおじちゃんやおばちゃんたちがボランティア活動や地域住民の居場所づくりなどのために生き生きと活躍をしていることを知り、地域活動と社協が密接に関わっていることがわかりました。

また、地域をよりよくしたい、盛り上げたいといった「住民の想い」をカタチにするために、社協がそのネットワークを活かしたさまざまな支援を行っていることも印象的で、社協という職場に魅力を感じるようになっていきました。

仕事の内容や目標を教えてください

人とのつながりや縁を大事にしながら、多世代交流の取り組みや支え合いの地域づくりを図るコーディネーター役として活動しています。

日高村社会福祉協議会ではさまざまな事業や取り組みを行っていますが、その原点にあることは「地域で暮らす住民の想いやニーズ」だと思っています。

地域には子どもから年配の方まで、障害のあるなしも含めさまざまな人が暮らしていて、暮らし方や考え方も一人ひとり異なります。私が働くうえで一番大事にしているのは、こうした住民一人ひとりの声、当事者の声に常に耳を傾け、アンテナを張り続けるということです。これからも住民の声を少しでも多く聴く機会を増やすための仕掛けづくりをしていきたいと考えています。

本越さんの とある一日

8:30

出勤

スタッフ同士で一日のスケジュールや事業の進捗状況を共有します。

8:30

いざ、現場へ！

保健師や民生委員と独居高齢者のお宅を訪問し、状況確認や困りごとをヒアリングします。

12:00

昼休み

コンビニでパンと珈琲を買って一服しています。

13:00

外出

村役場での支援者会議で支援方針を決定したり、地域サロンを運営している住民と打合せを行います。

16:00

サテライトサロン

利用者のニーズや意見を踏まえ支援策を検討し、必要に応じ関係機関につなぎます。

17:30

退勤

子どもを保育園に迎えに行った後、フットサルで汗を流します。

Message

福祉の経験や知識がなくても、必要なことは人とのつながりの中で教わっていくことができます。地域に対する思いを持って人とのつながりを大事にしていく意識を持つことができれば大丈夫ですので、一緒に頑張りましょう！

地域支援部門

住民の声に
常にアンテナを
張っています！

上司と相談しながら
取組を考えます！



Message

困っているご本人のために「何ができるか？」を考え、支援を組み合わせたいけるのが社協の強みです。また、さまざまな機関とのつながりを活かし、卒にはまらず新しい資源やサービスを生み出していくことができるので、やりがいを感じながら働くことができます！

土居さんの とある一日

8:30

出勤

当日の定期支援利用者のチェックなどを行います。生活支援員を送り出した後、明日以降の支援準備や新規相談への対応を行います。

10:30

係会で情報共有

契約中の利用者や新規相談のケースをチーム間で共有し支援内容を検討します。

12:00

昼休み

お弁当を食べてひと休み。お店でテイクアウトしてみんなでランチ会をすることも。

13:30

利用者宅訪問

銀行窓口で引き出しを行い、利用者宅を訪問して生活費を手渡します。

16:00

担当者会

利用者本人と各サービスの担当者が参加し、サービス内容を振り返って課題などを話し合います。

17:30

退勤

退勤後は、ランニングの後の一杯が楽しみです…！

親身になって
寄り添います！



個別支援部門

利用者さんの
人生と一緒に
支えています！

高知市社会福祉協議会
共に生きる課 主事
土居千夏さん

仕事のやりがいを感じるころは？

専門員と生活支援員が2人1組で約40人の方を担当していますが、どの方も本当に卒にはまらない生き方をされています。一人ひとりの生き方を理解し、本人の意思を大事にしながら安心できる生活をつくっていくこと、本人の人生と一緒になぞっていくことが勉強になるし面白いと感じています。

どんな仕事をしていますか？

認知症や知的障害、精神障害などにより自身で判断をすることが難しくなってきた場合に、福祉サービスの利用やお金の管理を支援する日常生活自立支援事業の専門員をしています。

大学2年生のときに参加した職場見学会で、社協が行っているさまざまな事業を知りました。その後、ゼミの先生の後押しもあり、高知市社会福祉協議会に臨時職員として入職。ちょうど新型コロナウイルス感染症による特例貸付が始まった頃で、ものすごい数の相談がきていて仕事をこなす日々でしたが、いろいろな課の方と話す機会も持つことができ、1年目に内部登用試験を受け正職員になりました。

社協に入ったきっかけは何ですか？

新しい課題に直面すると、同じ課のチームメンバーで話し合い、考えながら方向性を決めていきます。ふとしたことで困っているときも、気づいたメンバーがさっと助け船を出してくれる安心感もあります。私自身もそういうことが自然とできる職員を目指したいと思っています。

社協は働きやすいですか？

また、少子高齢化や单身などで困りごとを抱えた方が増えるなか、さまざまな機関で協同しながら利用者の方一人ひとりを支えています。が、やってもらえて当たり前じゃなく、持ちつ持たれつで感謝の気持ちをもちながら協同することが、ひいては本人への良い支援につながっていくとも感じています。

多田朋美さん

社協に入ったきっかけは何ですか？

前職のルーティン化した仕事内容に危機感を覚えていた頃、たまたま広告で求人を知った安芸市社会福祉協議会に入職しました。

社協の仕事内容は入職するまで想像もついていなかったのですが、地域支援、個別支援などの各部署を経験し、2023年からは総務部に所属しています。異動後まもなく産休と育休を1年半取得したので、現在の仕事は実質1年目になります。

仕事のやりがいを感じるころは？

日々の業務は理事会の運営、災害ボランティアセンターの運営、社協が事務局を運営している日本赤十字社等の団体事務などです。その他にも、社協内部の各種規定の改定や職員の健康診断などを担当しています。

今年度は、小学校6年生まで1人あたり10日間取得できる、子どもの看護休暇についての改定も進めてきました。職員の働き方に直接働きかけができることも総務のやりがいだと感じています。

社協は働きやすいですか？

社協の職場には女性が多く、育児経験がある方も多いので、子育てに理解があります。また、職場全体でノーマル残業を推奨しており、有給休暇の取得率も高いので働きやすい職場環境だと思います。

総務の仕事は組織全体に関わる大切な仕事です。さまざまな関係機関や人とのかわりがあるため、当たり前のことなのですが、締切を守ることで、年齢や役職に関係なく誠実に対応することを心がけています。

四万十市社会福祉協議会
福祉サービス係 チーフ

田口晋平さん

社協に入ったきっかけは何ですか？

高知県外の障害福祉施設や事業所で勤務していましたが、結婚を機に四万十市に移ることになり、四万十市社会福祉協議会へ入職しました。

仕事のやりがいを感じるころは？

主に障害分野での相談支援業務を中心に利用者さんへの個別支援を行うほか、計画相談や福祉サービス係のチーフとしてのさまざまな庶務も行っています。地域で暮らす障害のある方が自分を頼って相談をしてくれたり、相談者に寄り添いながらその人の生活に携わることができることで、この仕事のやりがいだと思います。

社協は働きやすいですか？

職員にとって働きやすい環境だと感じています。職員同士、時には雑談も交えながら活発に会話することで、円滑なコミュニケーションが取れる風通しの良い職場です。また、仕事の考え方や想いについて、意見をしっかり受け止めてくれる上司がおり、私自身もそのような上司になっていきたいと思っています。

個人的には、仕事とプライベートのメリハリをつけるようにしていて、仕事中は利用者さんをはじめ関係者の方にも信頼してもらえるように誠実な対応を心がけています。一方で、職場を出たらほとんど仕事のことは考えません。家族の時間も大事にしながら職場の仲間同士で旅行に行くなど、仕事とプライベートの両立ができることが職場の魅力です。

17:15

退勤

家に帰って夕食の準備をし、家族との時間を過ごします。

16:00

連絡と事務作業

利用者さんが通っている事業所と支援内容の見直しを行ったり、行政に提出するモニタリング等の書類を作成します。

同行支援

利用者さんが具体的な生活がイメージできるよう、グループホームや事業所の見学に同行します。

13:30

昼休み

休憩室でお弁当を食べながらスマホで動画やドラマを見ています。

12:00

ミーティング

スタッフ間で利用者さんの支援内容などを共有し、対応を協議します。

9:00

出勤

利用者さん宅の訪問日程を調整したり利用者さんからの電話に対応します。

8:30

Message

社協はどんなことでもこれまで経験してきたことが活かせる職場だと思います。入職のキッカケは何であれ、人と関わることが好きで地域福祉に対する熱意をもって取り組むことができれば、力を発揮できる仕事ですので、皆さんと一緒に働けることをお待ちしております！

Message

専門知識や資格がなくても、働きながら学んでいくことができます。生活経験が豊かだったり、人の生活を想像できる方、ぜひ社協に来てください！

総務部門

組織を支える存在として誠実に！

多田さんの とある一日

ラジオ体操・ミーティング

事務所全体でラジオ体操の後、全体ミーティングで情報を共有します。

8:30

窓口対応や事務処理

窓口に来所された方や電話への対応、事務処理などをテキパキと！

9:30

昼休み

現場近くの公園に行き、山を見ながら車内でのんびりお弁当を食べています。

12:00

会議への出席

日赤奉仕団委員長会に出席し、活動内容の把握や連絡事項を報告します。

13:30

連絡・事務処理

窓口に来所された方や電話への対応、少し時間がかかるような事務処理をコツコツと！

15:30

退勤

退勤し、近所の保育園へ子どもを迎えに

17:30

常に資料とにらめっこ！



1日のほとんどの時間は電話対応と現場です！

田口さんの とある一日

あなたは知っていますか？ 社会福祉協議会 「社協」のこと

わたしたち社協が 目指しているのは 地域共生社会の実現です

福祉の目的とは、「一人ひとりの幸せ」です。
その目的を達成するために、
社会福祉協議会は住民主体の理念に立ち、
住民や地域関係者と一緒に考え、協働しながら、
誰もが安心して暮らしながら自分らしく活躍できるよう
地域共生社会の実現に向けて取り組んでいます。

そのために、住民ニーズの把握に努めるとともに、
一人ひとりのニーズから地域全体の課題を考え、
必要に応じて幅広い公私の福祉関係者、
他分野と連携・協働して福祉のまちづくりを進めています。

一人ひとりのニーズを 受け止めて支援を行うとともに、 支え合いの地域づくりに 取り組むしごとです

社会福祉協議会(社協・しゃきょう)は、
みんなが安心して暮らせる地域づくりを目指して
活動している民間団体です。

地域で暮らす高齢者や障がいのある方、
子どもなどの支援を必要とする人たちのために、
生活面でのサポートや福祉サービスを提供しています。

また、「誰かの役に立ちたい」「もっと暮らしやすい町にしたい」と思う
地域の方々の気持ちを大切に、
人と人とのつながりを広げるお手伝いをしています。
さらに、福祉に関する相談窓口としても、
地域の皆さんが気軽に相談できる場を提供し、
地域全体で支え合う仕組みづくりを進めています。



県内すべての市町村で 社協は今日も 幅広く活動しています！

高知県内には、34の市町村社会福祉協議会と
県域の組織である高知県社会福祉協議会があります。
各市町村の社協では、地域の福祉活動への支援をはじめ、
福祉サービスの提供や生活に関する相談など、
皆さんの暮らしの身近なところで活動を行っています。
その代表的な取組をご紹介します。

県内市町村の
社協一覧は
こちらから！



地域福祉活動を 支援する

地域住民が協力して助け合う見守り活動など、安心して暮らしていくための仕組みづくりや、地域ボランティア活動の支援など支え合い活動の推進に取り組んでいます。



誰もが集える 居場所をつくる

地域サロン活動やあったかふれあいセンターなど、地域の人々が交流できる場を提供することで、孤立を防ぎ、安心して過ごすことができる環境づくりに取り組んでいます。



生活の困りごとに 対する相談を受ける

日常生活の中でさまざまな悩みや困難を抱える人々に対して、専門的なアドバイスや支援を行い、解決へ向けたサポートを提供しています。



学校における 福祉教育に取り組む

高齢者や障がい者などの地域住民や、地域活動に取り組む人々との交流を通じ、子どもたちが地域や福祉への理解を深めていくことができる取り組みを進めています。



介護・就業支援・保育 などの福祉サービス提供

高齢者や障がい者、子どもなどが必要とする介護・就業支援・保育など、生活の質を向上させるためのさまざまなサービスを提供しています。



募金活動と 資金の活用

地域の福祉活動を支援するために、赤い羽根共同募金などの募金を呼びかけています。集まった資金は、地域の助け合い活動や支援活動に活用されています。



民生委員・ 児童委員と協働する

地域住民の福祉を守るために、民生委員や児童委員と連携して困っている人々への支援やサービスなどの情報提供を行っています。



災害時における ボランティア活動の支援

災害が発生した際に、地域住民やボランティアが迅速に活動を行えるように各種調整や情報の提供を行い、災害ボランティアセンターの運営を行います。

Q & A

市町村社協の
採用情報は
こちらから！



社協で働くのは どんな人が 向いているの？

自分が暮らしている地域をより良くしていきたいという想いを持っている人、思いやりを持って人と関わることが好きな人、課題だけでなく“強み”を見つけられるような人が向いていると思います。



福祉を学んだ経験や 業界の経験が なくても大丈夫？

福祉を専門的に学び、福祉業界の経験を経て活躍している職員も多いですが、専門的に福祉を学んでいない方や異業種から転職された方など、福祉現場での経験の有無にかかわらず活躍している職員もいます。



応募するために 必要な資格は？

応募先の市町村社協や採用職種によって違いはありますが、一般的には普通自動車運転免許を有していることが要件となっているところが多いようです。近年では福祉関連の資格を不問としているところもあります。詳しくは各市町村社協にお問い合わせください。



採用募集は いつ頃から？

年度はじめの4月当初から募集を行う社協、秋から冬ごろにかけて募集を行う社協など、募集期間はさまざまです。職種によっては通年募集を行っている社協もあります。詳しくは各市町村社協にお問い合わせください。



入職後の フォローアップの 体制は？

仕事に必要な知識や資格は、それぞれの部門により異なります。各市町村社協及び県社協においては、先輩職員と同行して学ぶOJTや内部研修を中心に、県社協が開催する階層別・段階別の研修受講等を通じて日常業務を習得していきます。



毎日の勤務時間や 年間の休暇日数は？

応募先の市町村社協や採用職種によって異なりますが、おおむね8時30分から17時30分までの8時間勤務となります。また、多くの場合年間休日数は120日以上とされており、特別休暇等の休暇制度が設けられている場合もあります。



もっと詳しく 社協のことを 知るには？

このパンフレットで紹介している取組はごく一部であり、市町村社協ごとに取組内容も違います。見学などをご希望される場合は各市町村社協または県社協にお問い合わせください。



市町村社協と 県社協の違いは？

市町村社協は、生活での困りごとなどの相談支援をはじめ、イベントや子育てサロンの支援など、地域住民と直接関わるが多くあります。一方、県社協は市町村社協に対する後方支援や、市町村の行政区域を超えたネットワークづくりなどを行っています。

※こちらに掲載しているQ&Aの内容については、社会福祉協議会の採用に関する一般的な考え方として掲載しています。
市町村社協によって応募条件等が違いますので、詳しくは各市町村社協にお問い合わせください。

